



# みなみの空



## 学習発表会(10/23)に向けて



いつものように朝の交叉点で「お早うございます！」と子ども達を迎えていると、リコーダーを持って登校してきた子を見つけました。「家で学習発表会の練習かな？」と、尋ねると「はい！」と明るい声で返事が返ってきました。この子は、学習発表会を楽しみにして練習に励んでいるんだなと感じて嬉しくなりました。実は、少しだけ「ちゃんとできるかな？」という不安もよぎりました。

学習発表会に向けて、子ども達は長い期間一生懸命に練習します。ですから、実施するかどうかを1ヶ月前には決めなければなりません。南小では、練習スタートのGOサインを出しました。心配なのは、今後のコロナ禍の動きです。練習を始めた子ども達は、発表できると信じて頑張っています。急激に悪化したら…。と、考えると心配です。そこで、

- 学習発表会での感染防止対策を十分に行う。

1～3年生、4～6年生の2部に分ける。

保護者の皆さんには、ご自分のお子さん学年のみ参観していただく。

会場は、密を生じないようにする。

マスクができない発表の時は、フェースガードなどを着ける。

保護者の皆さんに消毒シートを配布して、座席の消毒をお願いする。

子ども達も保護者も職員も、検温等の健康管理を十分に行う。

- 状況が悪化した場合は、中止ではなく、状況に応じて延期や学年毎の開催、映像での開催などの方法で、必ず発表の場を確保する。

このように考えております。状況によっては変更が生じてしまいます。変化があった場合は、できるだけ早くお知らせしますので、よろしく願います。



## 秋は教育支援について考える時期です



南小には、19の学級があります。内訳は、普通学級15、特別支援学級3、通級指導教室1です。これは、教育基本法第4条「すべての国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない…(以下略)」によって、どの子にも学ぶ権利を保障するために設置されています。パラリンピックをご覧になった方は、人が自分の持っている能力を最大限に生かして活躍する姿に心を動かされたことと思います。小学校も同じです。様々な個性や、色々な能力の子ども達に対して、その子の力が一番育つ学級を用意しています。正に、多様性を大切にする社会が小さくなって学校の中にある状態です。

毎年今頃になると、学校では来年度のに向けた「教育支援委員会」が開かれ、一人一人の子ども達が自分に合った学級で学んでいるかどうか考えます。特に、今の学級で伸び悩んでいる子については、保護者の皆さんとも話し合いながら考えます。大切なのは、その子を深く理解することです。そのためには、様々な検査をお願いすることもあります。



お子さんの学びが伸び悩んでいたり、学校生活でうまく行かないことがあったりした時は、いつでも私たちにご相談ください。私たちも、お子さんを深く理解する努力をし、保護者の皆さんと思いを共有しながら、チームを作って知恵を出し合ったり、専門家などの意見を聞いたりしながら対応します。

教育支援の相談をすると、特別支援学級に入るようになってしまうと心配する方がいるかも知れませんが、学校はお子さんが入る学級を決める権限を持ちません。最後に決めるのは、保護者の皆さんですから、安心してご相談ください。

自分に合わない学級に入っているお子さんにとって、毎日の学校は我慢の連続です。学びの中で、周りの子が進んでいくのに自分が取り残される経験をしたり、一生懸命に頑張っているのにうまく行かなかつたりする事が多いと、「自分はダメだ。」と思い込んでしまうこともあります。教育支援は、子ども達を生かすものです。気になったらご相談ください。